

会 議 録

会 議 名	第19期小金井市公民館企画実行委員の会議 第17回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成20年 2月 5日 (火) 午前10時から正午		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	遠藤委員、大森委員、片山委員、末包委員、吉池委員		
欠 席 委 員	池内委員		
事 務 局 員	松本係長、和田主事、渡辺社会教育主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 議題</p> <p>① 公民館主催講座について</p> <p>② 福社会館まつりについて</p> <p>③ 市民講座「新しい公民館をつくる講座」について</p> <p>④ 相模原市立星が丘公民館からの視察について</p> <p>⑤ その他</p>		

会議結果

司会：遠藤委員

1 公民館主催講座について

松本： 「子どもの人権」講座についてですが、現在の応募は28名です。その中で、この日だけ参加したいという要望もありました。特に、第4回の「特別支援教育ってなに？」の講座だけは聞きたい、という方がいました。学校のすべての児童・生徒対象にチラシを配布しました。

片山委員：「特別支援教育ってなに？」に、参加があったことも学校にビラを配布したことの影響ですね。

松本：成人学校「視聴覚ライブラリー再発見！」は、現在、5名の参加がありました。

片山委員：当日参加の方もいると思います。電話申込みの場合、手続きは簡単ですが、受付漏れがないことが大切です。

松本：市民がつくる自主講座は、全部で10講座でしたが、現在9講座終了していて、残っているのは、「写真で見る小金井の女性たち」で、3月6日に実施予定です。来年度に向けて、そのあり方を話し合ってもらえたらと思っています。今年は、応募した講座をほとんど取り上げました。回数を制限して実施しました。しかし、このようなあり方がどうなのか？もともと、この講座の趣旨は、自分たちだけでは講座実施がむずかしい団体に、支援しましょう、という趣旨であったと聞いています。予算は、講師謝礼が12,000円×2時間×16回と保育謝礼が、1,050円×3時間×16回です。バラマキとなってはいけないので本日、論議して、ということではありませんが、来年度どうするのか、皆さんにも考えていただければと思います。

吉池委員：この講座は、本館だけで実施しているのですか？

松本：本館で担当しています。

末包委員：「市民がつくる自主講座」は、たまたま私が公運審の委員のとき開設されたもので、ベテランのために作ったわけではありません。たしかにそのような趣旨であったと思います。それから、本館の事業というのではなく、公民館全体の事業を本館が事務手続きをしてやっているということだと思います。16回のうち、10回実施したというのですか？

松本：10講座で、16回にふりわけて実施しました。

大森委員：実施時期は、いつだったのでしょうか？

松本：5月15日号の市報に募集記事を掲載して、7月中の締切りで実施しました。早い時期に実施したいという意向の団体もあるようです。

吉池委員：自主企画の場合、その企画にあたる人が企画実行委員の

役割を担う、ということですか。

末包委員：市民がつくる自主講座は、市民が企画したものを援助することですから、主催講座の企画に参加するのとは違います。

渡辺：異世代交流講座も募集が始まりました。子供対象の講座は、集まらない、日曜日の講座は、集まらない、といわれるなかで、ビラを配布し講座に参加してくれる、ということは考えにくいと思います。是非、口コミで声をかけていただければと思います。内容は、すばらしいので、声が届けば参加につながると思います。

吉池委員：子供対象の事業が、集まらないというのは、なにも今始まったことではありません。呼びかけ方を根本的に、変えないと難しいのでは。例えば、本屋さんに置いてもらうとか・・・

渡辺：そうですね。新しい、企画をやるときには、新しい募集方法が必要ですね。何か、考え方、発想を変える必要があるかもしれません。基本的なところで、後で反省が必要なのかもしれません。ともかく、今は一生懸命PRするしかありませんが。

片山委員：それと、講座実施のタイミングもあるのかもしれません。この時期は、一番忙しい時期ですから・・・

2 福社会館まつりについて

渡辺：1月30日の午後1時半から福社会館まつり準備会を開催しました。45名が参加しました。まつりのあり方から話し合いをしていただき、実施時期、実行委員の選出まで決まりました。

大森委員：参加企画を決めるのは？

渡辺：参加を募集するのは、もう少し先になります。

大森委員：企画実行委員として、参加するとしたら、例えば体力測定や、たち幅跳びなども考えられますね。もちろん、安全に気をつけてですが。

渡辺：今日のジャンプの新記録！なんてやると、盛り上がるかもしれませんね。

吉池委員：安全という意味では、体育指導員に協力いただくという方法もあります。

片山委員：けん玉などもいいですね。何か、楽しい遊びを取り入れるのがいいと思います。去年は、企画実行委員が一人ずつ各部門に参加しました。いろいろな人と知り合えたという意味では、あの方法も良かったと思います。

吉池委員：企画実行委員の係わり方がはっきりしていた方が良くと思います。準備会に参加しても、何をやったらよいかはっきりしないと困りますから。

3 市民講座「新しい公民館をつくる講座」について

渡辺：ご存知のように、公運審が新しい公民館の方針づくりの考え方のたたき台をまとめていただき、公運審、企画実行委員、職員、三者の話し合いが進んでいます。腰を落ち着けて、公民館のあり方を話し合う必要があるのではないのでしょうか。三者で話し合う、ということになっていますから、講座の場で、何か決めようというわけではありません。時間をかけて話し合い、特に相互理解の場としたい、ということです。

大森委員：他の分館はどういう状況でしょうか。

和田：分館それぞれ、企画実行委員の方がいて、それぞれ考えていただくことで、こちらからこうして・・・ということではないと思います。

渡辺：一緒に、やりましょうということでしたら、検討することが可能です。また、全体の公民館の方針より、その方針の中で、うちの分館では、こういう特色を出した事業を企画するための話し合いを中心に検討したい、ということもありうると思います。いずれにしても、その場合は、連絡をとりあって、やっていけば良いと思います。

末包委員：参加者は、少ないでしょうね。

渡辺：実際の事業のあり方に直結しますから、興味のある方も多いと思います。

和田：新公民館の建設と思って参加する人もいるかもしれません。

渡辺：そうでなく、新しい制度づくりのことだ、ということがわかるようにしたほうが良いのでしょうか。実施時期は、如何でしょうか。

末包委員：シルバーの準備会は水曜日でしたね。でしたら、月曜日はどうでしょうか。

遠藤委員：月曜日、木曜日、金曜日などですか。

渡辺：皆さんの予定をお聞きすると、市報4月1日号に準備会募集で、第1回の準備会は4月21日（月）午前10時からということにしたいと思います。

4 星が丘公民館からの視察について

松本：明日、2月6日の午後1時30分から3時まで相模原市立の星が丘公民館から視察に来られます。午前中、江戸東京たても園を見学して、午後、来館します。小金井市の企画実行委員制度がメインテーマです。来られる16名の内訳は、公民館運営協議会委員、専門部委員、公民館長、職員です。末包委員から企画

	<p>実行委員制度について、お話していただければと思います。</p> <p>末包委員：1995年4月、今から12年も前になります。企画実行委員をしていました。そのとき、「月刊こうみんかん」に、今より、ういういしい文章を書いております。その文章を用意していただければと思います。</p> <p>5 その他</p> <p>大森委員：三者の話し合いは、その後進展があったのですか？</p> <p>渡辺：公運審を傍聴していただいたのですが、その後の進展はありません。</p> <p>和田：貫井南分館で、耐震補強工事があります。実施時期は、まだはっきり決まっていませんが、2ヶ月くらい館を閉鎖することになるかもしれません。</p> <p>次回日程：3月4日（火）午前10時より公民館本館で。</p>
配布資料	<p>別紙1 「小金井市公民館企画実行委員」 (末包企画実行委員作成のレジュメ)</p> <p>別紙2 「神奈川県相模原市立星が丘公民館視察次第」</p>